

Syllabus Id	syl.-122-454		
Subject Id	sub.-122-900120		
更新履歴	120323		
授業科目名	学外実習Ⅲ Off-Campus Training Ⅲ		
担当教員名	永禮哲生		
対象クラス	機械工学科5年生		
単位数	1履修単位		
必修／選択	選択		
開講時期	集中		
授業区分			
授業形態	実習		
実施場所	実習先の企業等		
授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)			
長期休業中(原則として夏期休業中)に、企業または研究機関等において実習を行い、生産現場または研究機関等における研究、開発、生産などの活動を体験する。工業技術の体得とともに、実務経験を通じて技術者としての労働観、職業観を育成する。実施期間は1週間(40時間)とする。			
準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)			
学習・教育目標	Weight	目標	
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
	◎	E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
学習・教育目標の達成度検査			
1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験をもって行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格をもって当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。			
授業目標： 工業技術の体得とともに、実務経験を通じて技術者としての労働観、職業観を育成する。			
授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません)			
回	メインテーマ	サブテーマ	参観
	・指導教員(担任)が本人の希望にもとづいて受け入れ可能な企業などを選定する。		×
	・履歴書、エントリーシートなどの応募書類を作成する(企業への依頼は教務係)。		×
	・実習内容は企業側担当者と協議の上で決定する。		×
	・実習先についての事前学習を行い、レポートとして提出する。		×
	・実習期間中は企業側の指導にしたがって実習を行なう(学校宛での開始報告・終了報告が必要)。		×
	・実習終了後は、実習内容や成果についてまとめた実施報告書を提出する。		×
	・報告会で実習内容などを口頭発表(ポスターセッションを含む)する。		
	※不測の事態などの場合は必ず指導教員に連絡すること。緊急の場合は学生課でもよい。		
課 題： 実習先の指定にしたがう。			
評価方法と基準			
評価方法： ①履歴書・エントリーシートなどの応募書類、②事前学習レポート、③開始・終了報告、④実施報告書、⑤報告会による達成度検査、以上5項目をもって、目標達成度試験に代えるものとする。			
評価基準： 事前学習レポートと実施報告書が提出され、報告会で口頭発表を行なった者に対して、以下の割合で評価する。 ①履歴書・エントリーシートなどの応募書類10% ②事前学習レポート25% ③開始・終了報告10% ④実施報告書25% ⑤報告会30% 60点以上を合格とするが、成績評価は評語(A, B, C, D)をもって行なう。			
教科書等	実習先の指示による。		
先修科目			
関連サイトのURL			
授業アンケートへの対応	授業アンケートは存在しないので、事後の学生から提出される報告書を用いて、その改善策を検討する事とする。H23年度担任にと連携し、改善を行う予定である。		
備 考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。		